

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<エントリーシート>  ※事務局記入欄  <b>No. : D-122</b>	部門 校内研修プログラム開発・実践部門	学校名・氏名 五所川原第一中学校 岩見浩平 (平成 30 年第 4 回中堅教員研修)
	活動名 組織的・計画的な校内研修 ～カリネを活用した授業改善を通し～	

**課題の設定：** ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。

本校生徒の行事に向かう姿勢は非常に良く、より良い集団を作り上げようとする積極的な姿勢が見られる。その反面、日々の授業においては学習に対して無気力な生徒も見られる。教員個々では、生徒が主体的に取り組める学習活動を工夫しながら授業に取り入れているが、学習に対して意欲的に取り組むことができない生徒がいる現状が見られる。そこで、各教員が個々で行っている授業改善を組織として取り組み、校長が示すグランドデザインに基づいた授業改善を計画的に実施したいと考え、以下のような取り組みをした。

**方針・計画：** ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

本校では全教員が校内研究の研究主題に沿って共通理解した授業づくりに取り組んでいる。しかしながら、研究主題の共通理解が不十分であったり、研究主題が提案授業のためだけのものになっている現状が見られる。このため、前年度から校長の示すグランドデザインを共通理解し、同時に授業改善の方法にカリキュラム・マネジメントの手法を取り入れることで、学校課題を全教職員で共有し、育てるべき生徒像を明確にした。そのうえで年度始めから年間を通して、研究主題を意識した授業づくりをし、授業改善の視点を明確にしながら全教員で組織的・計画的に実施した。

**活動内容：** ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

共通理解を図る「全体会」と教科ごとの「部会」を繰り返しながら組織的・計画的な授業改善を実施した。

- カリキュラム・マネジメントや校長が示すグランドデザインの共通理解を図るための「全体会」の実施
- 各教科の「部会」における「具体的な取組」の確認
- カリキュラム・マネジメントを活用したグランドデザインの具体化
- グランドデザインの生徒・保護者への周知（「学習の手引き」として年度当初に全家庭に配布）
- グランドデザインを意識した授業改善の組織的・計画的な実施

**活動の成果：** ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- 授業改善の視点を全校で確認したことで、生徒は見通しをもって授業を受けることができるようになった。
- 授業改善の視点が明確なため、その視点に沿って授業計画をすればよいので、授業の準備に余裕ができた。
- 他の教員と協働することで、組織として校内研究を実施していると感じることができた。
- 学習指導要領実施に向け、「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」の理解が深まった。
- 新たな実践を知ること、対話的な授業や ICT 機器を活用する授業が増加した。

**アピールポイント（アイデアや工夫）：** ※3～5 つ程度の箇条書きしてください

- 教員が個々で行っている授業改善を組織的に行うことで、質が高く、個々の教員の指導力の差に負うことのない適切な指導を行うことができる。
- 新学習指導要領のキーセンテンスである、カリキュラム・マネジメントを授業改善に落とし込むことによって、より身近で取り組みやすいものとして、カリキュラム・マネジメントをとらえることができる。
- 研究主題を全教員の共通理解のもと、設定することができるので、年間を通して授業改善の視点を意識しながら取り組むことができる。

**組織的・計画的な校内研究の実施**  
 ～カリキュラム・マネジメントを活用した授業改善を通して～

五所川原第一中学校  
 研修主任 岩見浩平

**課題と目的**

課題：各教師が個々で行っている授業改善が全体としての取り組みになっていない。  
 目的：授業改善の視点を明確化し、校内研究を組織的・計画的に実施する。

**活動内容** 【カリキュラム・マネジメントを活用した授業改善を通して、校内研究を組織的・計画的に実施する】

①共通理解

【全体会】

- 校長からグランドデザインの提示
- カリキュラム・マネジメントの共通理解

②各教科での確認

【部会】

- 具体的な取組
- 重点項目の確認

③具体化

○ カリキュラム・マネジメントを活用した授業改善

④周知

○ 「学習の手引き」配布

⑤組織的・計画的な実施

**活動の様子**

①共通理解

②各教科での確認

③具体化

④周知

**成果と課題**

【成果】  
 授業改善の視点が明確であるため、教科を問わず、授業改善を全教員の共通理解のもと進めることができた。（年度途中であるため未検証）

【課題】  
 研究主題に沿って、授業改善の視点が明確化されているが、教科の特性によって適していない場合もある。